

第 38 回 START プログラム (オーストラリア)

2017 年 2 月 24 日から 3 月 13 日までの約 2 週間、第 38 回 START プログラムに学部 1 年生 30 名が参加し、桑島秀樹教授 (総合科学研究科) ほか 2 名の引率職員とともに、オーストラリア アデレード市にあるフリンダース大学に留学しました。

フリンダース大学では、附属語学学校の教員 3 名の指導のもと、基本的に 1 グループ 10 名で学習に取り組みました。授業には時折現地の学生も加わり、活発な議論を繰り広げました。現地の学生たちとは、一緒にクリケットを楽しむなどスポーツを通して交流し、異文化理解を深めることができました。また、現地の学生とともに、INU 学生セミナー (※) で毎年来広されている Catherine Kevin 先生の講義を受講する機会もありました。難しい講義でしたが、学生にとって非常にいい刺激になり、今後の英語学習のモチベーションにもつながりました。

その他、このプログラム最大の特色といえる現地の小学校への訪問や、カンガルー島への研修などがありました。

小学校への訪問は、2 週にわたって行われました。学生たちは、小学校で日本文化紹介を行うため、日本昔話の紙芝居を作ったり、折り紙などの遊びや歌を紹介するための英語を練習したりと、ひたむきに準備を進めていました。その甲斐あって、当日は大盛況となり、子どもたちともたくさん触れ合うことができました。学生たちは、この経験を通し、自分たちにとっては当たり前のことを他の言語で説明する難しさや、そのために何が大切かを肌で感じました。

研修の合間の土日で行われたカンガルー島研修では、学生たちは豊かな自然を体感し、野生動物と触れ合う貴重な体験ができました。道端でカンガルーやワラビーの姿を目にし、学生たちからは度々歓声が上がりました。その他にも、皆でバーベキューをしたり、夜は屋外で先生や学生によるギターの演奏で歌を歌ったりと、楽しいひとときを過ごすことができ、学生たちの絆がさらに深まった 2 日間になりました。

研修最終日には、テーマ別のグループに分かれてプレゼンテーションを行いました。事前研修で行った発表よりも内容が大いに充実しており、さらには講義を通して磨いた表現力を発揮することもでき、研修の締めくくりにふさわしいものとなりました。

学生たちは研修期間中、ホームステイを経験しました。多くの学生にとって、海外に出たのは今回が初めてでしたが、皆それぞれのホストファミリーとの親睦を深めることができました。学校に来ると毎朝、互いのホストファミリーについて笑顔で話しており、「またホストファミリーに会いに、アデレードへ戻って来たい」という声も聞かれました。学生たちがこの研修で得た貴重な経験をこれからは活かし、大いに活躍してくれることを祈っ

ています。

最後になりましたが、学生たちがこの度オーストラリアに派遣されるにあたり、広島大学基金にご寄附を頂きました多くの皆様に感謝いたします。



現地学生とのディスカッション



アデレード市内研修にて



カンガルー島にて野生のアザラシを観察



最終日のプレゼンテーションにて

(※) INU 学生セミナー：毎年 8 月の平和祈念式典にあわせ開催している「地球市民と平和」をテーマにした国際学生セミナー。フリンダース大学を含む国内外の INU (International Network of Universities) 加盟大学の学生・教職員が広島に集まり、ディスカッションやワークショップ等を通じて、Global Citizenship について考え、討議します。最終日には模擬国連総会を行います。